

～地域に根ざした環境バイオマスの普及に向けて～

東北バイオマス研修会 in 岩手

平成20年

11月1日(土)

開場 12:45

開催 13:15 ~ 16:30

会場 盛岡市民文化ホール 小ホール

無料

定員300名

基調講演

『バイオマスタウンの基盤となる
岩手の魅力と可能性を考える』



国連大学高等研究所いしかわ・かなざわ
オペレーティング・ユニット所長
アン・マクドナルド氏

研修会

『バイオマスタウンの策定と利活用推進について
～岩手県内におけるバイオマス事業の更なる展開を目指して～』
(株)循環社会研究所

事例報告

『葛巻町におけるバイオマスの利活用と
エネルギー自給のまちづくり』
葛巻町 農林環境エネルギー課

『エタノール固体発酵と機能性飼料開発の実証事例』
東海リソース(株)

『木質バイオマス利活用と
低コスト小型農業用暖房機の導入事例』
(株)渡会電気土木

バイオマスとは？

「再生可能な生物由来の有機性資源で、化石資源(石油や石炭など)を除いたもの」をバイオマス(Biomass)といいます。バイオマスは、地球に降り注ぐ太陽のエネルギーを使って、無機物である水と二酸化炭素から、生物が光合成によって生成した有機物であり、ライフサイクルの中で、生命と太陽エネルギーがある限り持続的に再生可能な資源です。

< 申込み方法 >

・**ホームページ** 研修会開催のページより「事前登録」を行ってください。登録が済みの方は「申込み確認」をお送りしますので**当日受付**までお持ちください。
・**ファックス** この用紙の裏面をご記入の上、事務局までお送りください。登録が済みの方は「申込み確認」をメールまたはfaxにてお送りしますので**当日受付**までお持ちください。

< 事前申込期限 > 10月29日(水)

席に限りがありますので事前にお申込みいただいた方を優先します。当日、直接会場にお越しいただいた際はお待ちいただく場合がございますことをご了承ください。

主催 東北バイオマス発見活用協議会
後援 東北農政局、岩手県、いわて環境王国展実行委員会
協力機関 NPOいわて銀河系環境ネットワーク

詳しくはホームページをご覧ください
<http://tohokubm.com/index.html>



お問い合わせは
東北バイオマス発見活用協議会事務局 <(株)循環社会研究所内>
TEL.03-5363-0181 / FAX.03-5363-0182 / E-MAIL. info@tohokubm.com

Anne McDonald (アン・マクドナルド)氏
 1965年カナダ生まれ。プリティッシュ・コロンビア大学東洋学部卒業。上智大学コミュニティーカレッジ講師、宮城大学国際センター准教授などを歴任した後、2008年4月から国連大学高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット所長。この他、全国環境保全型農業推進会議委員、(財)全国漁港漁場協会理事、内閣「立ち上がる農山漁村」有識者会議委員などつとめる。高校時代と大学時代に日本に留学経験がある。著書に「田園有情 ある農村の四季」「日本の農漁村とわたし」などがある。エッセイストとしても活躍。

葛巻町
 面積434.99km²、世帯数2,905世帯、人口8,140人
 まちのキャッチフレーズは「北緯40度ミルクとワインとクリーンエネルギーのまち」。基幹産業は酪農と林業。酪農は明治25年(西暦1892年)の乳牛導入以来、現在では牛の頭数、牛乳生産量とも東北一の酪農郷となっている。林業は森林の持つ機能と調和した整備を進め、造林、伐採から木材の流通、加工まで、地場産材を利用した地域林業の確立を目指している。さらに、町の資源を有効活用し、生産、製造、サービスを担当する4つの第三セクターを組み合わせた総合産業による地域活性化を進めている。当日はバイオマスタウンの形成とバイオガスの導入について報告していただく。

【盛岡市民文化ホール/マリオス 案内図】



JR・バス・タクシー盛岡駅下車、西口自由通路経由 徒歩3分
 東北自動車道・盛岡インターチェンジ 15分

東海リソース(株)
 2002年に食品廃棄物循環資源化に関する協議会を発足、翌2003年より東京農業大学と食品残渣を利用したエタノール製造に関する研究開始、2005年名古屋市に東海リソース株式会社を設立。畜産用飼料及び有機肥料製造販売、バイオエタノール試験研究製造及び研究開発、未利用バイオマス資源化プラントの企画及び開発などの事業に取り組んでいる。当日は食品残渣利用のエタノール固体発酵と機能性飼料開発の実証事例について報告していただく。

株渡会電気土木
 昭和46年山形県鶴岡市にて創業。発電電・通信・土木・機械設備をはじめとする6つの部門の他、田代工場では木質ペレット(灰分1%以下)、米糠ペレットをはじめとするリサイクル商品の生産も行っている。当日は農家の生産コスト削減などを狙いに開発されたハウス用ペレットストーブ「e・ペレ」について報告していただく。

FAX.03-5363-0182

東北バイオマス発見活用協議会事務局 研修会担当 行

岩手研修会 参加申込書

お選びください	一般・民間企業・NPO団体・公務員・学生・報道・その他[具体的に] 該当に 印をお願いします
ご所属 <会社名など>	
参加者名	[_____] [_____] [_____] [_____] [_____] [_____] 連名の場合、連絡窓口の方の _____ に印をお願いします 参加者 _____ 名
連絡先	E-MAIL または FAX [_____] 今後協議会が主催します研修会などのご案内を差し上げても宜しいですか? はい いいえ
ご住所	岩手県・[_____]県 [_____]市・町・村 住所の市町村名以下は不要です

* 御記入いただいた情報につきましては、個人情報保護を遵守します。

この研修会は、農林水産省がバイオマス利活用に対する理解と普及を目的に進める、2008年度「環境バイオマス総合対策推進事業のうち地域に根ざした環境バイオマスに関する意識改革(東北地域事業)」<国庫補助事業>の一環として行うものです。

